

定期報告（ウルグアイ政治・経済：2025年1月）

【ポイント】

内政

- 7日に発表された政権支持率に関する世論調査結果で、現政権は58%の高い支持率であった。
- 7日、ムヒカ元大統領は、癌の転移が見つかったが今後は治療を行わない旨発表した。

外交

- 4日、ゴンサレス・ベネズエラ野党元大統領候補がウルグアイを訪問し、ラカジェ・ポウ大統領と会談した。
- 16日、ウルグアイとアラブ首長国連邦は産業分野に係る協力に関する覚書に署名。

経済

- 6日、ウルグアイ投資促進庁は2024年の輸出総額が128億米ドルに達したと発表した。
- 30日、矢崎総業はウルグアイにある自社工場の操業を停止し撤退する旨発表した。

【本文】

1 内政

（1）政権支持率に関する世論調査結果

7日、当地主要世論調査会社（Equipos社）は、12月に実施した政権支持率に関する世論調査で、ラカジェ・ポウ政権の支持率が前月の54%から58%に伸び、高い政権支持率であったと発表した。現政権は2月一杯で任期満了を迎え、3月1日に新大統領就任式が行われ政権交代となる運び。また、23日に発表された政治家への親近感に関する世論調査結果では、最も人気の高い政治家はムヒカ元大統領（54%）で、続いてオルシ次期大統領（53%）、ラカジェ・ポウ大統領（52%）の順で、第4位以降を大きく引き離していた。なお、オルシ次期大統領に対する親近感は選挙前と比べ大きく改善した（2023年末35%→2024年中旬53%）。

（2）ムヒカ元大統領の癌転移

9日、当地ブスケダ紙は、ムヒカ元大統領は治療中の食道癌が肝臓に転移しているが、今後は追加的な治療はしないとの、余命わずかと思わせる同元大統領のインタビュー記事を掲載した。ムヒカ元大統領は、食道癌を患っており放射線治療等によって一時は体調が回復していたが、89才の高齢に加え慢性的な持病

（血管炎及び腎臓病）のため、身体的負担の大きい化学療法や手術などはできない旨説明した。

2 外交

（１）ゴンサレス・ベネズエラ野党元大統領候補の来訪

４日、ラカジェ・ポウ大統領はウルグアイ訪問中のベネズエラ野党元大統領候補のエドゥムンド・ゴンサレス・ウルティア氏と会談した。同氏はベネズエラ大統領選挙の勝者であることを示す証書（Acta）の写しをラカジェ・ポウ大統領に手渡した。同日、ウルグアイ外務省は、マドゥーロ政権は独裁でありゴンサレス氏が正当な次期ベネズエラ大統領である旨のプレスリリースを発出した。一方、ゴンサレス氏とウルグアイ次期政権関係者との会議は実施されなかった。なお、１０日に行われたマドゥーロ・ベネズエラ大統領就任式へはウルグアイ政府代表の出席は無く、次期政権与党となる拡大戦線（ＦＡ）幹部数名が党代表としてではなく個人として参加した。

（２）アラブ首長国連邦との覚書き署名

１６日、国際再生可能エネルギー機関（IRENA）の第１５回総会の枠組みで、工業エネルギー鉱業省は、アラブ首長国連邦エネルギー・インフラ省と、産業、エネルギー及びインフラ分野に係る協力に関する覚書に署名した。両国は、クリーン水素などのエネルギー分野におけるイノベーション等において協力し、また、セミナー、研修、研究・開発などを通じたキャパシティービルディングを図る意向である。２０２４年、ウルグアイは風力、太陽光、水力、バイオマス等の再生可能エネルギーによって、９９％の電力エネルギー供給を達成した。今後、交通及び産業分野における脱炭素化を目指すとともに、輸出向けクリーン水素エネルギー開発に取り組んでいる。

3 経済

（１）２０２４年の輸出総額

６日、ウルグアイ投資促進庁は、２０２４年の輸出総額が前年比１３％増となる１２８億米ドルに達したと発表した。主な輸出品はセルロース（２５億ドル）、牛肉（２０億ドル）、大豆（１２億ドル）の順であった。輸出先第一位は中国で、輸出全体の２４％を占め、次いでブラジル（１８％）、ＥＵ（１４％）となった。

（２）矢崎総業のウルグアイからの撤退

３０日、自動車部品メーカーの矢崎総業がウルグアイからの撤退を発表した。同社は、２００７年からウルグアイに進出し自動車部品の他、空調設備、ソーラー製品、ガス器具等の製造・販売を行い、コロニア県の工場で９００名、カネロネス県の工場で３００名の従業員を雇用していたが、今後はアルゼンチン及びパ

ラグアイにある同社の工場に機能を移転する旨説明した。撤退の理由として、「ウルグアイにおける操業・生産コストの高さ」を挙げた。前コロニア県知事であるオルシ次期大統領は、「根本的な問題は競争力とコストであり、それは今に始まった問題ではない」と述べ、ウルグアイの投資法や法的安定性といった利点を活かし、企業の投資誘致を促進する既存インセンティブを維持する必要性を強調した。

4 要人往来

(1) 往訪

- ・ 7日～9日：パガニーニ外相のパナマ訪問
- ・ 19日～28日：サンギネッティ観光大臣のスペイン訪問
- ・ 31日～2月5日：パガニーニ外相及びアルベレチェ経済財務大臣のベルギー、イタリア訪問

(2) 来訪

- ・ 4日：ゴンサレス・ベネズエラ野党元大統領候補